

別記
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		2013年 7月 23 日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地		氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 日本製紙クレシア株式会社 代表取締役社長 南里泰徳 電話 03 - 6665 - 5300
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	I S O 1 4 0 0 1	
適 用 範 囲	日本製紙クレシア株式会社 京都工場	
導 入 年 月 日	2003年 12月 19日	
認 証 番 号	J Q A - E M 3 6 1 8	
基 本 方 針	①地球温暖化対策 ②森林資源の保護育成 ③資源の循環利用 ④環境法令の順守及び環境負荷の低減 ⑤環境に配慮した技術・製品の開発 ⑥積極的な環境コミュニケーション	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	資源の有効活用・・・古紙利用率15%継続 省エネルギー・・・エネルギー原単位2008年度比10%削減 省エネルギー・・・温室効果ガス原単位2001年度比17%削減 廃棄物発生量削減・・・最終処分量を製品重量当り0.01%以下の継続 有価率を総廃棄物重量比60%以上に改善 包装材料の軽減・・・消費者へのごみの軽減(包装材料、資材全般) 環境コミュニケーション・・・工場見学受入れ推進	
目標を達成するための取組の内容	省エネ・・・蒸気配管熱損失低減(保温ジャケット取り付け)、ボイラ運転圧力低下による効率向上、エアリーク箇所の補修、コンプレッサーエアーのプロワ化、歩留向上等、空調機器の温度管理 廃棄物・・・ヘルスクエア不良品等の削減 コミュニケーション・・・工場見学受入れ	
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネ・・・蒸気配管保温不良箇所の洗い出し及び保温ジャケット取り付け推進、エアリーク箇所の補修、コンプレッサーエアーのプロワ化、歩留向上等、空調温度設定見直しにより使用電力削減を実施中 廃棄物・・・ヘルスクエア不良品等の削減を実施中 コミュニケーション・・・工場見学受入れを実施中	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	省エネとして温室効果ガス原単位及びエネルギー原単位の向上は、未達に終わった為、25年度の目標に取り入れ、継続して取組む。その他の項目については、計画通り取組んでいる。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況について1ヶ月に1回環境情報誌及び本社からの環境週報等で確認を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては、原則として1年に1回社内内部監査、認証機関による外部監査、経営者による見直しを実施している。平成23年度は現行の目標及び取り組み内容により一定の成果が見られたことから、24年度も同一のシステムにより運用した。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。